港湾振興便り

2019．12
第151号

＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：

目　　次

＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：

１　ポートエッセイ　　―シベリア鉄道　―
～　日本港湾振興団体連合会会長（新潟市長）　中原　八一　～

２　トピック

●「ザ・シンポジウムみなとin 小樽」を開催
（北海道開発局　港湾計画課）

●苫小牧港西港区真古舞地区国際物流ターミナル整備事業着工式典を開催
（北海道開発局　室蘭開発建設部　築港課）

●「全国アマモサミット2019inみやぎ」を開催しました！
（全国アマモサミット 2019in みやぎ実行委員会）

●「鹿島港整備関連施設群」が令和元年度の土木学会選奨土木遺産に認定！
（関東地方整備局　鹿島港湾・空港整備事務所）

●「伏木富山港（新湊地区）中央ふ頭再編整備事業着工式典」を開催
（北陸地方整備局　伏木富山港湾事務所）

●「みなとオアシス田子の浦」登録と「田子の浦ポートフェスタ2019」開催！
（富士市　産業政策課　港湾振興室）

●「建設現場で働く女性の想いをカタチにする」女性会議を開催しました！
（中部地方整備局　四日市港湾事務所）

●下関港国際クルーズ拠点整備事業着工式を開催
（九州地方整備局　下関港湾事務所）

●『三池港浪漫フェスタ2019』が開催されました！
（九州地方整備局　博多港湾・空港整備事務所）

●「沖縄クルーズカンファレンス2019」を開催
（沖縄総合事務局　港湾計画課）

●ポナン社「沖縄エクスペディションクルーズ」の発売を発表

（沖縄総合事務局　港湾計画課）

●平良港にて防災・危機管理現地総合訓練（11/8）、保安総合訓練を実施（11/26）

（沖縄総合事務局　平良港湾事務所）

３　お知らせ

◇イベント名　：港湾関係団体新春賀詞交換会

＊：＊：＊：

＊：

2 トピック

＊：

●「ザ・シンポジウムみなとin 小樽」を開催

（北海道開発局　港湾計画課）

令和元年１１月２７日（水）に北海道小樽市において、小樽港の開基150周年・開港120周年を記念して「ザ・シンポジウムみなとin小樽」を開催しました。

このシンポジウムは、フェリー、RORO船、コンテナ船、クルーズ船など様々な船が往来する「船客万来」の小樽港が、多様な機能に効率的に対応する「機能的な港湾」として担う役割や将来像について考えるためのもので、市民ら約４００名が参加しました。

はじめに基調講演として、小樽市総合博物館の石川直章館長が『近代化を運んだ港』と題し、小樽港のこれまでの歩みを振り返りながら、港湾の近代化を運んだ小樽港の功績を紹介しました。

次に、パネルディスカッションでは、小樽商科大学の李濟民教授をコーディネーターに、迫俊哉小樽市長、北海商科大学の田村亨教授、北海道港運協会小樽支部の大田秀樹支部長、商船三井客船営業グループの冨田瑞穂課長代理及び小樽商工会議所女性会の小笠原眞結美副会長がパネリストとして参加し、小樽港が果たすべき役割とそのために必要な取組について熱心な議論が交わされました。

基調講演をする石川館長

パネルディスカッションの様子

●苫小牧港西港区真古舞地区国際物流ターミナル整備事業着工式典を開催

（北海道開発局　室蘭開発建設部　築港課）

１１月９日（土）１１時から苫小牧市内のハーバーFビルにおいて、苫小牧港管理組合と北海道開発局室蘭開発建設部の主催により「苫小牧港西港区真古舞地区国際物流ターミナル整備事業」の着工式典を開催し、国会議員、関係自治体や関係団体など約７０人の方が出席しました。

本事業は、苫小牧港西港区真古舞地区中央北ふ頭において、水深１２ｍの岸壁を新たに建設することで、中央ふ頭及び西港区全体の港内混雑・滞船対策とともに、米、とうもろこし、動植物性製造飼肥料等の荷役効率化を図るものです。

式典では、はじめに主催者である岩倉苫小牧市長から「西港区の公共ふ頭では、港内の混雑が恒常化し、年間8000時間を超す滞船が発生しており、特に混雑している中央北ふ頭が利用できない場合は、他の公共ふ頭を利用せざるを得ず、大変非効率な荷役作業が強いられていた。本事業により、西港区内の公共ふ頭利用の再編が可能となり、沖待ちや滞船が改善され、更なる産業競争力の強化を期待している。」との挨拶がありました。

その後、多数の来賓挨拶、祝電披露があり、続いて事業概要報告及びくす玉開披を行うとともに、工事箇所で現地視察会を開催しました。

挨拶する岩倉市長

くす玉開披の状況

●「全国アマモサミット2019in みやぎ」を開催しました！

（全国アマモサミット 2019in みやぎ実行委員会）

11月9日（土）、10日（日）、塩竈市魚市場を会場に「全国アマモサミット2019inみやぎ」を開催しました。

サミットは海の水質の浄化や生物の多様性に大きな影響を与え“海のゆりかご“と呼ばれる「アマモ場」をキーワードとして、海の自然再生・保全を目指し、地域の事例発表や意見交換の場として毎年全国各地で開催しております。

基調講演では、国土交通省国土技術政策総合研究所岡田知也室長から、地球温暖化対策として注目される「ブルーカーボン」が紹介され、アマモ場が果たす地域への影響力と再生による好循環についてご講演をいただきました。

一般講演では、東日本大震災の津波によって広大なアマモの群生箇所の大部分が消失した松島湾での観光客や住民参加によるアマモ場作りの報告、全国各地でのアマモ場の再生活動が発表されました。

また、「高校生サミット」も行われ海洋環境の研究や環境改善活動の取り組みが発表され活発な意見が交わされました。次回のアマモサミットは2020年に福岡市を会場に開催されます。

パネルディスカッションの様子

「高校生サミット」では全国から13校が発表

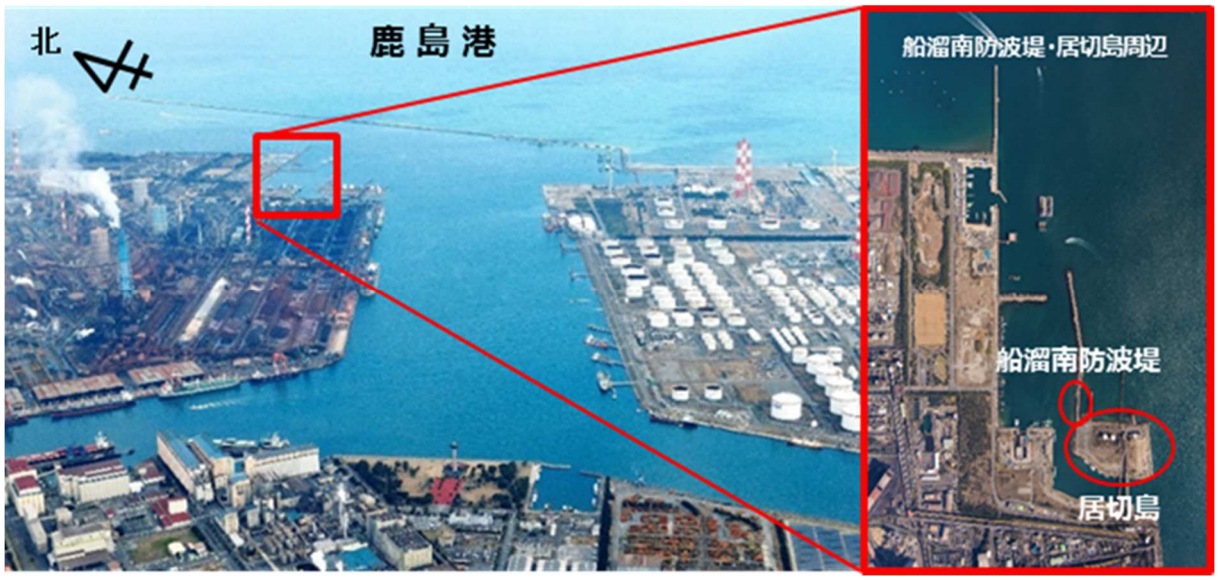
●「鹿島港整備関連施設群」が令和元年度の土木学会選奨土木遺産に認定！

（関東地方整備局　鹿島港湾・空港整備事務所）

令和元年度の土木学会選奨土木遺産に認定された「鹿島港整備関連施設群」の認定証授与式が、11月2日（土）鹿島セントラルホテルで行われました。

当日は、鹿島港開港50周年を記念した講演会・祝賀会が開催され（主催：鹿島港振興協会、共催：茨城県、神栖市、鹿嶋市）、（一財）みなと総合研究財団の鬼頭顧問等が記念講演を行った他、講演会後には茨城県から、鹿島港の発展に寄与した7団体2個人へ感謝状の贈呈が行われました。

講演会にあわせて、土木学会選奨土木遺産の認定証授与式も行われ、（公社）土木学会関東支部茨城会　小柳会長（茨城大学名誉教授）から関東地方整備局　加藤副局長及び茨城県　宇野副知事へ認定証が授与されました。



土木学会選奨土木遺産に認定された「鹿島港整備関連施設群」

認定証授与式での記念撮影

（左から関東地方整備局　加藤副局長、

（公社）土木学会関東支部茨城会　小柳会長、

茨城県　宇野副知事）

土木学会選奨土木遺産認定証

●「伏木富山港（新湊地区）中央ふ頭再編整備事業着工式典」を開催

（北陸地方整備局　伏木富山港湾事務所）

令和元年１１月１７日（日）、伏木富山港（新湊地区）中央ふ頭再編整備事業着工式典を開催しました。

本事業は、新湊地区において、入港船舶の大型化に起因する非効率な荷役形態や沖待ちを解消するとともに、取扱貨物の増加に対応するために蔵置貨物の集約・配置見直しを行うものです。

着工式典では、石井隆一富山県知事、富山県選出の橘慶一郎衆議院議員、野上浩太郎参議院議員、堂故茂参議院議員、夏野元志射水市長のほか、港湾関係者・利用者など計６３名が参加。

吉岡幹夫北陸地方整備局長が、工事の安全・早期供用を目指して工事を推進するなど式辞を述べ、ご来賓の方々から祝辞をいただいた後、矢板打設セレモニーを実施しました。矢板打設セレモニーでは、関係者が起動ボタンを押すと、連動して現地の工事用重機が稼働し、記念すべき1本目の矢板打設が開始されました。今後は安全に留意し工事完成を目指します。

矢板打設セレモニー

1本目の矢板打設

●「みなとオアシス田子の浦」登録と「田子の浦ポートフェスタ2019」開催！

（富士市　産業政策課　港湾振興室）

11月15日（金）、「みなとオアシス田子の浦」が登録され、練習船大成丸の寄港歓迎式と併せて登録証交付式を開催しました。代表施設である「田子の浦港漁協食堂」は、富士山と港の風景とともに、名物のしらす丼を味わうことができ、県外・国外から多くの観光客が訪れます。「田子の浦しらす」は、伝統の一艘曳き漁と氷締め技術により鮮度が高く保たれ、農林水産省地理的表示（GI）保護制度に認定されています。

17日（日）に開催した「田子の浦ポートフェスタ2019」では、練習船大成丸のほか、海上保安部や海上自衛隊の船舶等が寄港し、船内公開やショートクルーズ体験を実施しました。また、水陸両用バスの運航や、国交省清水港湾事務所による業務艇での港内見学など様々な企画も催され、約11,000人が港を満喫しました。

登録書交付式

練習船大成丸一般公開の状況

●「建設現場で働く女性の想いをカタチにする」女性会議を開催しました！

（中部地方整備局　四日市港湾事務所）

10月30日に「建設現場で働く女性の想いをカタチにする」女性会議を開催しました。女性の入職促進や就労継続に向けた取組の一貫で、行政を含む建設業で働く女性職員をはじめとする関係者と共に「建設現場で働く女性の想いをカタチにする」ことを目的に、女性の就業環境改善に向けた意見交換会を四日市港湾事務所と津松阪港工事安全連絡協議会が主催しました。

当日は中部地方整備局、三重県、津市及び四日市港湾事務所発注工事の受注者等の建設現場で働く女性10名の他、各機関の代表者が集まり、津松阪港海岸の工事現場を見学した後、「建設業をもっと魅力的なモノにするために必要なこと」をテーマに意見交換がなされました。

女性参加者からは、作業現場において女性の目線に寄り添い配慮された更衣室・トイレが設置されていると好意的な声が上がりました。また、現場休憩所の分煙環境の未整備を指摘する声も上がりましたが、関係者からは順次改善していく意向が示されました。引き続き、四日市港湾事務所は関係者の協力を得ながら、女性の就業環境改善に向けた取り組みを進めていきます。

安全パトロールの様子

意見交換の様子

●下関港国際クルーズ拠点整備事業着工式を開催

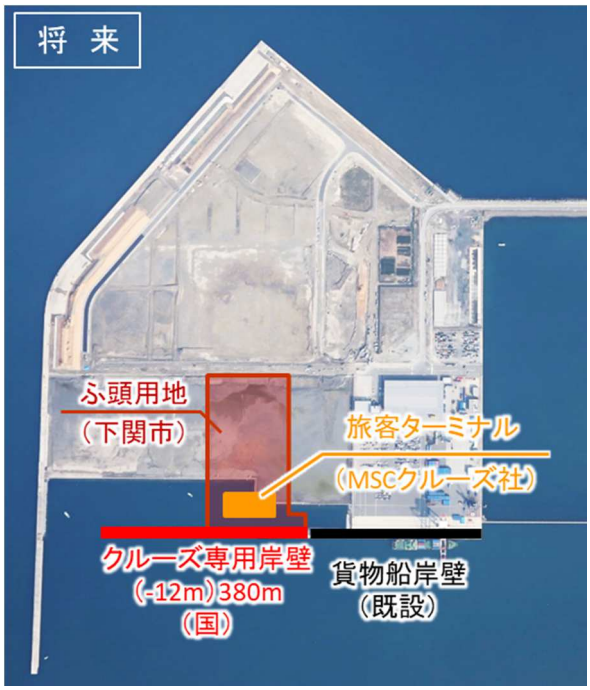
（九州地方整備局　下関港湾事務所）

１１月１７日（日）、下関市及び株式会社ＭＳＣクルーズジャパン並びに国土交通省九州地方整備局の共催による着工式典が行われました。

本事業は、平成３１年４月に下関港が官民連携による国際クルーズ拠点の形成を推進するための「国際旅客船拠点形成港湾」に指定されたことを受け、下関港新港地区において国がクルーズ船専用岸壁、市がふ頭用地、ＭＳＣクルーズ社が旅客ターミナルを整備するものです。

式典では、多数の関係者の出席のもと、主催者の挨拶に続いて国会議員をはじめとした来賓の皆様から祝辞をいただきました。

最後に、下関の郷土芸能である平家太鼓を披露した子供たちと一緒にテープカットが行われ、新規着工を祝いました。



●『三池港浪漫フェスタ2019』が開催されました！

（九州地方整備局　博多港湾・空港整備事務所）

令和元年11月3日（日・祝）、世界文化遺産の三池港（福岡県大牟田市）にて『三池港浪漫フェスタ2019』が開催され、家族連れなど約3,000人がクルーズや食のイベントを楽しみながら、港に親しんで頂きました。

『三池港浪漫フェスタ』は、三池港の歴史や文化を伝え、貴重な地域資源である有明海や三池港に親しむイベントとして、毎年11月3日に開催されています。

当日は家族連れなどでにぎわい、通常は軍艦島を周遊する2階建て遊覧船「マルベージャ」（三池港初寄港）による三池港遊覧船クルージングや、今年8月の豪雨の際に有明海の漂流物の回収作業で活躍した海洋環境整備船「海輝（かいき）」の体験航海、パナマ運河と同じ閘門式水門である三池港閘門の見学会、海上保安部巡視艇の放水デモンストレーション、みなとの役割や港湾整備の紹介など盛りだくさんのイベントが行われ、海や港に親しみ、魅力を感じて頂く機会となりました。

イベント会場

三池港遊覧船クルージング

「海輝」体験航海

三池港閘門見学会

●「沖縄クルーズカンファレンス2019」を開催

（沖縄総合事務局　港湾計画課）

沖縄県の更なるクルーズ振興に向けた可能性と課題を探る、「沖縄クルーズカンファレンス2019」が11月12日（火）、沖縄県と（一財）沖縄観光コンベンションビューローの主催で開催されました。

2020年から沖縄発着クルーズを本格就航させる「コスタグループ・アジア社」のマリオ・ザネッティ社長が基調講演し、沖縄のクルーズ産業発展のためのフライ＆クルーズやインターポーティングの可能性について言及しました。また、パネルディスカッションでは商船三井客船株式会社の小出　文隆　取締役、ポナン社の伊知地　亮　ビジネスディベロップメントマネージャー、静岡市経済局海洋文化都市推進本部の村松　正章　参事兼副主幹が登壇し、「クルーズと地域～更なる成長を目指して～」と題して、意見交換が行われました。

フロアの様子

関係者による記念撮影

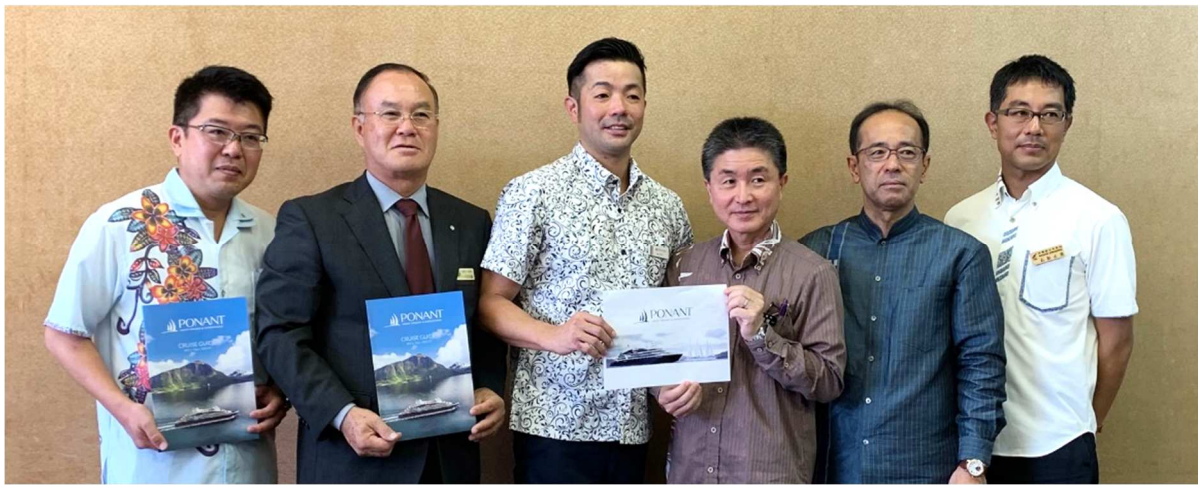
●ポナン社「沖縄エクスペディションクルーズ」の発売を発表

（沖縄総合事務局　港湾計画課）

欧米の富裕層を中心に高い支持を得ているフランス唯一のクルーズ船社「ポナン社」は国内では初めて、沖縄県内の離島を周遊する「沖縄エクスペディションクルーズ」を発表しました。大阪港を出発後、沖永良部島を経由し、座間味島、久米島、竹富島、西表島及び与那国島など、これまでクルーズ船が寄港する機会が少なかった小規模な離島を巡るツアーを2021年6月に実施します。従来の大型クルーズ船では寄港が難しい小規模な離島への観光が可能となるなど、新たなスタイルのクルーズが展開されることで、更なる離島振興、観光振興への貢献が期待されます。

同ツアーで使用される「ル・ラペルーズ（10,038GT）」

沖縄エクスペディションクルーズのルート

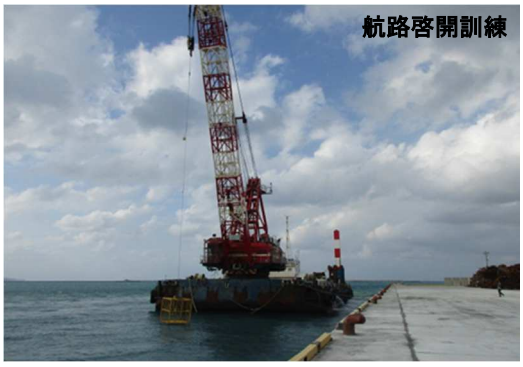


左から：宮里哲（座間味村長）、大田治雄（久米島町長）、伊知地亮（ポナン社 ﾏﾈｰｼﾞｬｰ）、
新垣健一（沖縄県文化観光スポーツ部長）、下地芳郎（沖縄観光ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝﾋﾞｭｰﾛｰ会長）、
石原正豊（沖縄総合事務局開発建設部 港湾空港指導官）

●平良港にて防災・危機管理現地総合訓練（11/8）、保安総合訓練を実施（11/26）

（沖縄総合事務局　平良港湾事務所）

１１月８日（金）、平良港下崎埠頭にて大規模地震・津波が発生したことを想定した平良港防災・危機管理現地総合訓練が沖縄総合事務局主催で実施されました。当日は宮古島海上保安部や宮古地区海上防災対策協議会、災害包括協定団体等の関係機関から約１００名が参加し、海上保安部のヘリによる漂流者救助訓練や起重機船による航路啓開訓練等が行われました。



11月8日に実施された平良港防災・危機管理現地総合訓練

また、１１月２６日（火）、同埠頭にてテロ等による各種犯罪の発生を想定した平良港保安総合訓練が実施され、宮古島海上保安部、宮古島市等関係機関から８０名以上が参加しました。実際に船舶、海保巡視船、パトカー等を使用し、不審者制圧訓練や船内不審者・不審物捜索訓練、負傷者搬出訓練など本番さながらの実践的な訓練が行われました。

11月26日に実施された平良港保安総合訓練

＊：

３　お知らせ（みなとのイベント情報）

＊：

◇イベント名　：港湾関係団体新春賀詞交換会
日　時：令和２年１月２２日（水）　１８時３０分～
場　所：ANAインターコンチネンタルホテル東京
地下1階　「プロミネンス」
℡：03-3505-1111
東京都港区赤坂1-12-33

＊：＊：＊：　本メールマガジンに関するお問合せやご意見、また情報の送り先　：＊：＊：＊＊：＊：＊：

日本港湾振興団体連合会事務局
〒105-0002　港区愛宕1-3-4
TEL：03-5776-0630、FAX：03-5776-0631
e-mail：bcf06323@nifty.com

＊：